

／全員注目！／

役職者座談会

トーレイの次世代を担う若手社員の成長には、失敗を学びに変える指導と部署間の連携が不可欠です。今回は現場の第一線で組織を牽引する、3名のリーダーにお集まりいただきました。技術継承の方針や若手の強み、今後の展望について語り合っています。

若手の挑戦を支える指導とチーム連携

工事管理課 課長代理

おおくぼ よういち

大久保 陽一さん

営業企画課 課長

やえもり つよし

八重森 剛さん

工場開発課 工場長

むらまつ すぐる

村松 豪さん

若手を指導する際に意識していること

ミスの原因を考えさせ、挑戦による失敗はフォローする

八重森 若手を指導する際、私は自ら行動できる力を育むため、すぐに答えを教えないようにしています。例えば、ミスがあっても間違った箇所を指摘するのではなく、そこまでの過程を一緒に振り返る感じですね。対話を通じて、より良い考え方を身につけてもらえればと思っています。

大久保 私の場合は、まずやってみせ、詳しく説明し、任せるという3段階の指導を行っています。さらに、現在はマニュアルも作成しています。経験が浅い

人でも、安心して仕事に取り組める環境を整えているところです。

村松 工場は技術継承がメインとなるため、教わった「基本」を正確に伝えることを重視しています。私は、若手の失敗には2種類あると思っています。新しい挑戦による失敗は手厚くフォローしますが、不注意によるミスは品質に関わるため、しっかり指導しています。

若手ならではの長所

柔軟な吸収力と、オン・オフを切り替える新しい働き方

大久保 昨今は製品の技術進化が激しいため、逆に若手から教わる場面も増えてきましたね。特にデジタルツールについては習得が早く、現場撮影用のタブレットを導入した際も、すぐに使いこなしていました。新しい知識を柔軟に吸収し、現場で共有してくれる姿勢は頼もしい限りです。

八重森 確かに、若手の吸収力と柔軟性は素晴らしいと思います。先日も、難解な書類作成が必要となる補助金事業を任せた際、自ら事務局に問い合わせ対応してくれました。実務と異なる業務であっても、能力を広げようと取り組む姿勢は若手ならではと言えるでしょう。

村松 私は、「プライベートを大事にする」ところが長所だと感じています。私たち世代は仕事優先になりがちでしたが、今の若手はうまくバランスを保っていますよね。オン・オフを切り替えて業務に集中する、新しいスタイルを体現してくれていると思います。



若手への期待と今後のチーム連携

互いの業務を理解し、会社全体を俯瞰する視野を持つ

村松 現在でも製作の依頼などを通じて、他部署とは良い連携が取れていると思います。今後はさらに一歩進んで、世代間の連携も強めていってほしいですね。若手とベテランが互いの考えを柔軟に合わせながら、トーレイの原点である製造・修理というコア技術を守り続けていただければと。

八重森 トーレイを長く持続させるには、連携だけでなく、他部署とのコミュニケーションをさらに強化する必要もあると感じています。特に若手の皆さんには、積極的に他部署と関わり、互いの仕事を把握してほしい。社内のつながりを深め、会社全体を見渡すことで、組織をより良くしていこうという意識が芽生えるはずです。

大久保 自分の業務だけでなく、他部署の動きまで気かけられるといいですね。部門ごとの長所や短所を理解し、「困ったら工場や営業に頼もう」など、全員がスムーズに連携できる体制が理想。そのためには、やはり一人ひとりが会社の全体像を把握することが重要だと思います。



猛暑に負けない熱量で！

私の「ひと夏の挑戦」

MY CHALLENGE OF
THIS SUMMER

新たに修理の手配業務を担うことになった千葉さん。

業務効率化と自身の知識向上に向けた、
下半期の目標を語ります。

乗り越えたいと感じている壁

突発的な依頼に焦ってしまう
現状を打開したい



入社8年目を迎え、新たに修理の手配業務を担当することになりました。これまでは電話受付が主な業務でしたが、現在は伺ったご依頼内容をもとに現場担当者がスケジュールを組み、お客様へ訪問時間を連絡する役割も担っています。

私がこの手配を引き受けることで、担当の方が修理そのものに専念でき、1日に対応できる件数が増えるなど、**会社全体の業務効率化につながると期待されています。**しかし、夏場に向けて修理依頼が増加する中、突発的な案件が飛び込んでくると焦ってしまい、誰に担当してもらうべきか、最適な人員配置が瞬時に判断できなくなることが今乗り越えなければならない壁だと感じています。

下半期は、急なご依頼にも慌てず、優先順位を的確に判断できるようになることが目標です。そのためには、手配の調整でお客様へお電話をする際に、「機器のどこがどのように悪いのか」を深く聞き出すコミュニケーション能力が欠かせません。前職で厨房機器を扱っていた経験から、おおよそのイメージはつかめますが、今後は内部構造や部品に関する専門的な知識をさらに深め、**お客様の緊急度を考慮した手配ができるようになりたい**と考えています。

また、プライベートでは仕事の原動力となっている趣味と、より上手に付き合っていくことも目標の一つです。時間やお金の使い方をしっかりコントロールし、仕事との良いバランスを保ちながら日々の糧にしていきたいと考えています。



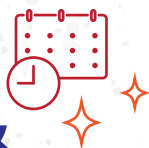
技術部 サービス課

ちば ともみ

千葉 智美さん

下半期に達成する業務目標と プライベートの挑戦

専門知識を深めた
最適な手配と、
趣味との良いバランス



目標を
叶えるための行動

多くの経験を積み、
自立した手配担当を目指す



まずは日々の業務に数多く対応し、経験を積むことが第一です。現在は手配を組む際、周囲の先輩方に多くフォローしていただいています。その手厚い支えに感謝しつつ、少しずつ自分で判断できる範囲を広げていきたいと考えています。さまざまな修理のパターンを学び、**どのような状況でも落ち着いて最善の選択ができる**手配担当を目指します。

現場全体のスピードを上げる！ 「プロの道具箱」

工具や材料を配置する際のちょっとしたマイルールはありますか？
今回は、車内のスペースを有効活用する志村さんの整理整頓術をご紹介します。

真似してみよう！工夫ポイント

工具は箱のまま大きさ順に

車のドアを開けた際、他の物を動かさずに目的の工具を取り出せる配置にしています。車両には材料なども積んでおり、現場の仲間に使ってもらう場面も少なくありません。そのため、初めて見る方にとってもどこに何があるのかわかる状態を保つように意識しています。

工具を並べるときに工夫しているのは、大きい箱から順に並べることです。会社から支給された大切な工具を守るためにも、私は箱に入れたまま保管しています。また、空調機器などを運ぶことも多いため、室内機と室外機を積むスペースは常に空けておくよう心がけています。



工事課 全任

し む り ょ う

志村 諒さん



活用アイテム教えます！

用途別に使いわける3色のカゴ

今活用しているのは、それぞれ用途が異なる3つのカゴです。

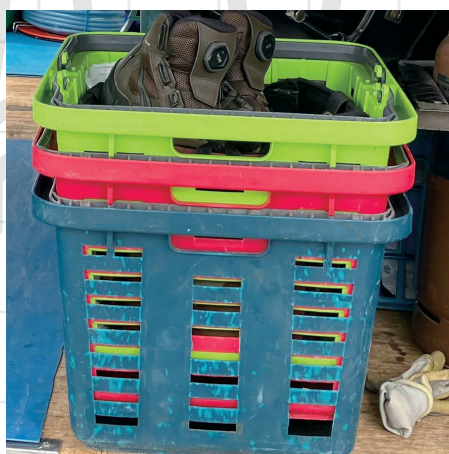
緑色のカゴには小さい道具

赤色のカゴには材料

青色のカゴには不要物

というように使いわけています。

これらを現場に並べておけば、他のメンバーが消耗品を使うときやゴミを捨てたいときに、迷わず道具を手にとってもらえると考えています。作業中に出る銅管の切れ端なども、決まった捨て場所があることで現場が散らかりにくくなります。撤収時の時短になる上、会社を持ち帰った後の分別・処分もスムーズです。また、道具と材料の定位置を明確にわけることで、探す時間を短縮しています。



空間の有効活用に向けて

水平・直角を意識し 荷物を固定

私独自のポイントは、水平と直角を意識して荷物を積むことです。段差がある状態では入れたいものが入らないこともあるため、棚を設置する際も実際の作業手順をイメージしてレイアウトするよう心がけています。もう一つの工夫は、揺れやすい荷物の固定方法です。移動中に荷物が崩れたり音が鳴ったりしないよう、ゴムなどを使ってきちんと固定するようにしています。



ORGANIZATION AND EFFICIENCY IMPROVEMENT!



感謝の メッセージ

大切な仲間
に贈りたい!!

普段はなかなか伝えられない「ありがとう」の言葉。見えないところでの気遣いや、体を張った献身的なサポートなど、日々の業務を支えてくれる仲間への感謝のメッセージを紹介します。互いの努力を認める姿勢が、トーレイの温かい職場を作っています。

From

技術部サービス課 課長
さかもと たかひこ

坂本 貴彦 さん



技術部サービス課 主任
はらさわ りゅうじ

To 原沢 龍二 さん



課内の頼れるパイプ役として、いつも周囲を気遣い、チームを支えてくれてありがとうございます。

Message

エピソード

若手と中堅の相談や要望のとりまとめや作業の補助などを引き受けてくれるおかげで、安心して修理訪問ができています。

原沢さんのここがすごい!

部下を気にかけてフォローする姿勢が素晴らしいです。ぜひこれからも続けてほしいと願っています。

From

技術部サービス二課 課長
あめみや すずむ

雨宮 進 さん



技術部サービス二課
まつしま としあき

To 松島 敏明 さん



毎日退社時の連絡ありがとうございます。細かい報連相に救われています。

Message

エピソード

毎月、一般のお客様の保守点検予定を早めに共有するだけでなく、抜けが出ないように気遣っていただき助かっています。

松島さんのここがすごい!

点検を自身の業務と捉え、同僚だけではなく上司にも点検台数や配置の違いなどの報連相をしてくださり、ありがたく思っています。また、施工不良について指摘もいただいたおかげで、お客様に迷惑をかける前に対処することができました。

From

営業企画課・
生体エネルギー実践研究室
課長

みぞた のりゆき

溝田 訓之 さん



工場開発課 アドバイザー
みずかみ ふじお

To 水上 富士夫 さん



長い間、工場を守ってくれてありがとうございます。

Message

エピソード

極寒の八ヶ岳でサービスエリアの厨房の排気フードの設置工事をしました。日中業務にあてられないため、20:00～翌朝4:00の閉店後の夜間だけで完了しなければならない工事でした。2月だったこともあり尋常ではない寒さを水上さんと乗り越えることができました。

水上さんのここがすごい!

どのようなときでも責任感を持って仕事をやり遂げる精神力と根性が素晴らしいと感じています。

トーレイ BBQ に密着！

社員のご家族の方にもご参加いただき、毎年春に開催をしています。
今年は総勢63名の方が参加。そのうち、お子さんは14名参加してくださいました。

当日は自己紹介から始まり、幹事さんが毎年異なるお子様向けのゲームを企画してくださり会社の駐車場で実施。
その後BBQ会場の甲府市にある右左口の里へ移動。
美味しいお肉を食べながらビンゴゲームをしたり、釣りを楽しんだり仕事とは違うコミュニケーションを取っています。
このBBQは、社員と社員のご家族様全員が笑顔が溢れ、とても楽しい時間になっています。



SDGsの 取り組み

当社では、温室効果ガス「フロン」を回収させていただいた収益の一部を活用し、社員の出身小学校へ健康や自然、環境などSDGsに関連した絵本を寄贈する取り組みを行っています。

この活動は2026年で4年目となります。

久しぶりの母校への訪問で、小学生の頃にタイムスリップし懐かしい思い出がよみがえってきたり、小学生から元気をもらったりして、社員にとっても今後の励みになる良い取り組みだと考えています。

